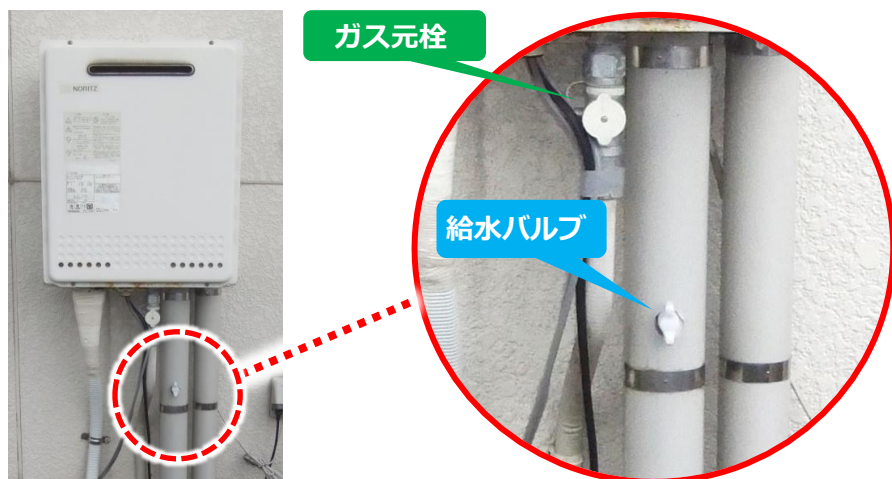


ガス給湯器の凍結対策



冬の凍結トラブル。お湯が出ない!!

すべてのお湯の蛇口から何も出ず、給湯器配管の給水バルブ(元栓)が回らない場合、「給水バルブ(元栓)が凍結」している恐れがあります。



凍結してしまったら

● 気温上昇により自然解凍するまで待つことをおすすめしますが、すぐにお湯を使用したい場合、下記の方法をお試しください。

- ① 給湯器の給水バルブ(元栓)の周りにタオルを巻く。
- ② 40~50℃のお湯を巻いたタオルにゆっくりとかける(熱湯は配管を痛めます)。
- ③ 給水バルブ(元栓)が回るようになったか確認してください。
- ④ お湯の蛇口を開き、給湯器が作動するか確認してください。
- ⑤ お湯が出たら巻いたタオルを外し、配管まわりの水を拭き取ってください。



省エネ給湯器(エコジョーズ)をご使用の場合、ドレン(排水)配管が凍結することもあります。ドレン(排水)配管が凍結した場合、リモコンに「290」「291」等のエラー番号が表示されます。同エラーが出た場合はドレン(排水)配管にもタオルを巻き、お湯をかけてください。

ご使用のガス給湯器にこのマークがあったら省エネ給湯器です。



凍結を予防するには

● 凍結予防ヒーターによる方法。

- 給湯器には凍結防止ヒーターが内蔵されており、凍結の恐れのある気温になると自動的に給湯器内を温めますので、電源コンセントは抜かないでください。
- 給湯器に接続されている給水・給湯配管に凍結防止ヒーターを巻きつけることをおすすめします。自動的に配管を温め、給水バルブの凍結を防ぎます。

● 通水による予防方法。

- リモコンの運転スイッチを切り、お湯の蛇口から極微量の水を出しておきます。



お問い合わせは
越後ガスサービス株式会社

TEL:0250-22-9651